

○シニアSA理学療法学科3年次生 橋 詩乃さん



・SAをしてやりがいがあること、苦勞していること

・SAの活動で問題を解けたときの嬉しそうな表情や達成感のある表情を見ると、やりがいを感じます。苦勞していることは分かりやすく、自分で解けるように教えることです。自分の解き方が相手には合わないこともあるため、相手に合わせて必要な知識を選んで説明したり、具体例を出したりしています。また、自分で答えを導き出してもらうために問いかけや他の問題も使えるような説明をするように意識しています

・学修支援参加学生へのメッセージ

数学、物理、化学、生物はどれも今後、医療保健学部で学ぶ内容の基礎知識になります。基礎知識があると内容が理解しやすく、今後の勉強がよりおもしろくなると思います。高校で履修していなかったり、難しい問題があったりして大変だと感じている方もいると思いますが、一緒に頑張っていきましょう！

・医療保健学部理学療法学科を選んだ理由

理学療法学科を選んだ理由は、地元である石川県で理学療法士として人の役に立ちたいと思ったからです。私は小学生の頃から理科が好きで、人体の仕組みには特に興味がありました。高校で文理選択に悩んだとき、自分の将来について真剣に考え、医療の分野で人の役に立てる仕事がしたいと思いました。社会復帰のサポートが出来る場所に魅力を感じ、理学療法士を目指すようになりました。

・自分自身の学修でこれから取り組みたいこと

臨床実習に向けて、理学療法評価の演習に積極的に取り組み、これまで学んだ知識を総合して考えられるようにしていきたいです。また、国家試験に向けて過去問を解いたり、今まで習った内容を復習していきたいです。